

## 一般質問発言通告書

議席番号 22番

氏名 牛尾 昭

答弁を求める者  
(○をつける)

市長

教育長

監査委員  選挙管理委員会委員長

農業委員会会長

固定資産評価審査委員会委員長

公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1 郷土資料館建設予定地について

2月5日の連合審査会や翌日の全員協議会において、市長並びに執行部の跡地利用における熱い思いを聞いた。しかしながら、資料館は、別の施設との複合化をすでに示されており、いくら有識者の検討委員会が石見神楽伝承施設を跡地の候補としても差し支えないと提言されたからといっても、あまりにも唐突であった。以下質問に入る。

- ① 候補地の一つ、浜田城資料館の隣接地は、かつて検討したとおりに津波被害の恐れがあるとのことで、不適となったが、能登地震を見ても明らかであり、候補地にあげた理由を問う。
- ② 次に、世界こども美術館との複合化案は岡田教育長が「一番だと思う」との言葉にもあるように現実的である。実は私は、かつて、その案を一般質問で提案した経緯がある。理由は、人口減少時代に、二つの美術館を維持するのは非常に困難である。かつて、石本先生から石本作品を収蔵する美術館を建ててもらえないかの打診に、当時の市長は、財政面を理由に三隅町の町長に頼み、三隅町に建設された。ところが合併後、結果的に新浜田市には二つの美術館が誕生した。以上の理由により、素晴らしい二つの美術館を維持するために私は複合化案を提案した。このような流れの認識で間違いはないか執行部の認識を問う。
- ③ 次に、三つ目の候補地の三桜酒造跡地について、地元紙は「浜田市長、今なら整備できる」との、刺激的な見出しであった。古くは、平成8年の浜田市観光ビジョン策定において、海浜公園に神楽殿建設と位置付けられた。私も参加していて、いよいよだなとワクワクしたのを覚えている。しかしながら、いまだに実現していない。石見神楽発祥の地として、インバウンド対策の目玉として、石見神楽のあらゆる関係者各位の夢、実現のために、この本会議場で市長の思いを問う。